

西小は おおきな 家族
Family
～校長のたわいもない独り言～

平成 30 年 7 月 9 日 (月) No.19
発行人

最近気のせいかわ猿が少なくなっ
てような気がする川崎先生。

◇雑感・雑感・雑感◇

・大きな“やさしい手”のワンボックスカーが毎朝校門前を通る。運転手さんは必ず横断歩道近くでスピードを緩め、笑顔で川崎に挨拶をしてくれる。そして車の中をよーく見ると、中に乗っているおばあちゃんがいつも手を振ってくれている。登校中の児童たちもあいさつしたり手を振ったりしている。なんかほんわかしているなあ～。

・ふっふっふっ。最近ジャンケン強い。〈～〉

・“いろいろもらえなくなったらジャンケン強くなったね”と3年生に言われる・・・その通りかも(T_T)

・とか言っていると、平岡3人娘たちにきれいな緑色をした小さなアマガエルをもらう。(^^)ふう、カエルかあ。でも、このカエルをずーっと手の中に持ってきてくれたんだよね。なんてかわいらしい事なんだろう

・“校長先生、これっ!”と言って見せてくれた“玉虫”。おーっ、久しぶりに見た。何十年ぶりかもしれない。金色に輝く玉虫って、それだけで宝物のような感覚になる。

・ある5年生。「校長先生、シロアリって何の仲間か知ってる?」「えーっ?わからないなあ」「家の中で一番嫌われるものの仲間なんだよ」「もしかしたらゴキブリ?」「せいーい」。続いて「げじげじって殺しちゃダメなんだよ」「蚊やハエを駆除してくれるんだから」「ペットにしている人もいるみたいだよ」。へえ～。これからも物知り博士にいろいろ聞いて勉強しようっと。

・火曜日の2校時は全校草取り。照りつける夏の太陽の下、みんな汗だくになりながら草取りしてる。川崎は6年生と一緒にだったけど、愚痴ひとつこぼさず、黙々と草取りしている。この6年生にならなんでも任せられるなあ。

・終わってすれ違う子どもたちが、「こんにちは」「お疲れ様です」と口々に声をかけてくれる。疲れが吹っ飛ぶ。

・そしたら、終わった瞬間にサッカーやバドミントンを始める子どもたち。子どもの体力って計り知れない。

・いまだに、“教頭先生!!”という声に反応して振り向く自分がいる。

・いまだに、“校長先生”として、なにをどうすればよいのか悩んでいる自分がいる。

・保護者の皆様から、～先生の教え子で・・・～先生の同級生で・・・～君の同級生で・・・とか、いろんなつながりをお聞きすることが多い。世の中せまいなあ～。

・世の中せまいと言えば、今回の芥川賞候補になっている北条裕子の「美しい顔」を読んだ。なるほど、候補になるだけの惹き込まれる文章だ。この北条裕子が実は御勅使中時代の教え子だったという話。それもバスケット部で、卒業アルバムでは隣に写っているという話。まったく世の中はせまい～。

・司書の藤田tがどうも不思議。いろんなものを試食するらしい。ドッグフードやキャッツフードは言うに及ばず、カブトムシのエサのゼリーも食べたことあるらしい。まあ、毒ではないので食べられることは確かだけどねえ。人よりも興味関心がより高いということで話を収めましょう。はい。